

観葉植物の冬支度

朝晩冷え込む日も多くなり、冬の到来が近づいてきました。私たちが厚手のコートを着るように、寒さに弱い観葉植物も、そろそろ冬仕様に衣替えが必要です。

基本は室内に取り込んで、冬越し対策!

人気の高い観葉植物は、その多くが熱帯地域原産なため、寒さは大敵です。植物は特性が異なるので、個々に最適な防寒対策をして上手に管理しましょう。

設置環境

- **最低気温を毎日チェック!**
15℃以下を目安に、室内に取り込むように。室内温度は、各植物の耐寒温度をふまえて調整しましょう。
- **時間帯で設置場所を移動**
昼間は日当たりのいい部屋の窓際に。夜間は冷え込む窓際を避け、部屋の中央へ移動しましょう。
- **カーテンを活用**
レースのカーテン越しの日射しが最適です。冷気やすきま風を防ぐ、厚手のカーテンも有効です。
- **床暖房は要注意**
床暖房は、植物の乾燥を促すので要注意。使用する場合は、鉢の下に段ボールなどを敷きましょう。
- **暖房の温風は厳禁**
温風が直接当たらないよう調整を。葉の乾燥を防ぐため、加湿器利用もおすすめです。



水やり・肥料

- **冬場は植物も冬眠状態**
水を吸い上げる力が衰えるので控えめに。余分な水分は、根が腐る要因です。
- **水やりは晴天の昼間に**
気温の低い朝晩の水は、植物も縮こまってしまうので、晴天の昼間がベストです。
- **葉水で乾燥防止**
基本は乾燥気味に管理しますが、葉の水分は適度に必要。時折、霧吹きで湿らせましょう。
- **肥料は不要**
冬眠状態なので成長もほぼゼロ。栄養の与えすぎも、枯れる原因です。



工夫次第で防寒率アップ

室内温度が低い場合や、耐寒性の低い植物には、こんな防寒対策も。

- **鉢カバー**
段ボールや発泡スチロールの箱に鉢ごと収納。また、鉢をタオルや新聞紙でくるんで、きれいな布で覆えばインテリア性もばっちりです。
- **簡易温室**
発泡スチロールとビニールを使ったり、ペットボトルをカットして植物にかぶせたり、簡易温室風の環境で育てます。



最近では観葉植物の他にも野菜をプランター栽培する方が増えています。冬は虫がつきにくく、始めるチャンスかもしれません。特にほうれん草や小松菜はプランターで育てやすく初心者の方にもおすすめです！成長も早いので今の時期に植えれば冬のお鍋などで楽しめそうですね。



←裏面では冬でもぽかぽか！良いところたくさん！ ガーデンルームをご紹介。

オーナーズ・ホーム筑後(松藤工務店)

福岡県みやま市高田町江浦町 542-101

営業時間 9時～18時 定休日 日曜日

TEL 0944-22-2296

E-mail t2.owners@alpha.ocn.ne.jp

HP <http://matsufuji-co.com>



オーナーズホーム筑後



憧れるだけはもったいない！ ガーデンルームをおすすめする

6の理由



ガーデンルームってご存知ですか？
ガーデンルームは“庭の中の小さな別荘”。
寒い日や雨の日に使えないテラスや、空間を開放できないサンルームとは違い、季節や天候に応じて折戸パネルを開け閉めでき、外の開放感と中の安心感を得られるリビングの延長のような空間です。

1. 天気を気にせず洗濯物を干せる

突然の雨でも安心。ガーデンルームと室内が、ガラス戸や窓で仕切られている場合、臭いも気になりません。

2. 洗濯物に花粉が付かない

他にも黄砂やPM2.5など。有害物質が付かず、太陽光でカラッと乾かします。



3. 広くて明るい縁側感覚

テーブルや椅子を置いてくつろぎスペースに。
他にも、フローリング床で子どもが喜ぶプレイルームに。

4. ガーデニングが一年中楽しめる

温室効果で冬でも比較的暖かく、霜の心配や、夏の虫刺されもないので、ガーデニングや家庭菜園を季節問わず楽しめます

5. 断熱効果に期待

二重部屋効果で室内の冷暖房の効きが良くなります。室内とサンルームがガラス戸や窓で仕切られている場合、サンルームが大きな空気の層となって室内の温度を保ってくれます。結露も軽減され、更に嬉しいですね。

6. プライバシーを守ります

お隣と窓が向かい合っていたり、外から室内が丸見えの場合。サンルームを設置し、外とワンクッション置けば人の目も気になりません。



「ガーデンルームをおすすめしたい6の理由」いかがだったでしょうか？
上記以外にも、『お庭のお手入れの軽減』など、オススメしたいところは沢山あります。
気になった方は是非是非お問合せください！お待ちしております！